

令和4年度

事 業 報 告 書

社会福祉法人 謎早市社会福祉協議会

## 目 次

I	令和4年度事業報告 概要説明	4
II	実施事業	6
1.	法人の運営基盤強化	
1.	組織・事務局体制の充実	6
(1)	事務局体制	6
(2)	監査及び理事会・評議員会の開催	6
(3)	研修会の参加	8
(4)	事務・事業執行体制効率化の推進	10
2.	福祉系大学との連携	10
	相談援助実習生受入事業の実施	10
3.	職員の講師派遣	10
4.	自主財源確保の取り組み強化	11
	会費・寄付	11
5.	日本赤十字社長崎県支部諫早市地区の事業	11
(1)	募金実績	12
(2)	災害見舞金配付状況	12
6.	長崎県共同募金会諫早市支会の事業	12
(1)	長崎県共同募金会諫早市支会運営委員会の開催	12
(2)	募金実績	12
7.	長崎県戦没者慰靈奉賛会諫早支部の事業	13
(1)	長崎県戦没者慰靈奉賛会諫早支部役員会の開催	13
(2)	諫早市戦没者追悼式の開催	13
(3)	募金実績	13
2.	地域福祉活動の推進	
1.	地区社協運営支援	13
(1)	地区社協会長会会議の開催	13
(2)	地区社協活動支援	13
	①支援項目別実績	14
	②地区社協総会及び事業への出席	14
	③ふれあいきいきサロン	14
	④子育てサロン活動	15
	⑤福祉協力員設置事業	16
	⑥地区社協リーダー研修会	17
	⑦世代間交流事業	17
	⑧高齢者等見守りネットワーク活動	17
	⑨ふれあい食事サービス事業	18
	⑩ひとり暮らし高齢者の集い	18
	⑪地区社協・地域福祉活動計画策定	19
	⑫地区社協情報連絡会の開催	19

2. 地域福祉強化のための施策	19
(1) 第17回諫早市社会福祉大会の開催	19
3. 生きがい学び事業の実施	20
(1) 上山荘生きがい学び講座の開催	20
(2) 上山荘お楽しみ講座の開催	21
4. 住民参加による地域福祉の推進	21
(1) 講早のお米で支えるプロジェクト	21
(2) 他機関との連携	21
5. 地域福祉団体及び関係機関・団体との連携及び会議出席	21
(1) 民生委員・児童委員との連携	21
(2) 定期総会及び各種団体開催行事への出席	21
(3) 介護予防と生活支援の語らん場への参加	23
3. ボランティア活動の推進	
1. 福祉意識啓発活動	23
(1) 社協広報紙「かんしゃ」の発行	23
(2) ホームページの充実	23
(3) 収集活動への協力（プルタブ及び使用済切手）	24
(4) 使用済み切手整理ボランティア活動の実施	24
(5) イベント型福祉意識啓発活動	24
2. ボランティア活動の振興	24
(1) ボランティア活動の支援（一般向け）	24
(2) ボランティアセンター（利用団体及び個人への支援）	25
(3) 講早市ボランティア連絡協議会への支援	26
(4) 災害ボランティア養成事業	26
(5) 災害ボランティアに関する協定	27
(6) ボランティアの養成	27
4. 共同募金配分金事業の実施	
1. 配分金事業の推進	28
(1) 赤い羽根共同募金配分金事業	28
(2) 歳末たすけあい募金配分金事業	29
5. 福祉総合相談支援事業の実施	
1. ふれあい福祉相談事業の実施	30
(1) ふれあい福祉相談センターの運営	30
(2) ふれあい電話相談	30
(3) 相談状況	30
2. 福祉資金貸付事業の実施	31
(1) 生活福祉資金貸付事業の受託運営	32
(2) 講早市社会福祉協議会福祉資金貸付事業の運営	32
3. 日常生活自立支援事業の受託運営	33
(1) 援助活動の実績	33
(2) 契約状況内訳	33
(3) 活動状況	33
4. 成年後見申立相談援助	33

<b>6. 福祉教育推進事業の実施</b>	
1. 福祉教育の推進	3 4
(1) 福祉教育推進事業協力校の指定	3 4
(2) 福祉体験学習の支援	3 5
2. 生活援助事業	3 5
3. シニア美術手工芸作品展の開催	3 5
4. 障害者美術手工芸作品展（心の花展）の開催	3 5
<b>7. 施設管理経営（指定管理）の受託</b>	
1. 諫早市社会福祉会館の管理・経営	3 5
2. 諫早市上山荘南館の管理・経営	3 6
3. 福祉施設巡回バスの運行	3 6
4. その他	3 7
<b>8. 新型コロナウイルス感染症に伴う経済対策</b>	
生活福祉資金貸付（緊急小口資金等特例貸付）の受託運営	3 8
<b>9. その他の事業の実施</b>	
1. 諫早市水難者慰靈祭の開催	3 8
2. その他	3 8
各種委員の推薦	3 8

## I 令和4年度事業報告 概要説明

近年、少子高齢化の進展、家族形態の変容、雇用形態の変化、近隣関係の希薄化などを背景に、様々な生活課題が深刻化しています。

また、市民の生活様式を大きく変えた新型コロナウイルス感染症の影響は、これまで培ってきた地域における福祉活動においても影響を与え、人と人とのつながりが制約され大きな影響を及ぼしてきました。

本会では、近年の社会情勢の変化を踏まえ、令和4年に策定した第4次諫早市地域福祉活動計画に基づき、市民、企業など誰もが簡単に福祉情報を手にすることができる、福祉活動への関心と参加を促せるよう、SNSによる福祉情報の発信やオンライン会議等の情報通信技術を活用し、ボランティア活動や地域福祉活動を身近に感じてもらえるような環境づくりを行いました。 [P.19、23]

[P. 19, 23]

また、経済の停滞や物価高騰により生活が困窮した方などが、困りごとをひとりで抱えむことがないよう丁寧な相談対応を心がけました。生活が困窮している世帯に対して、市民から寄付していただいたお米等の食料や歳末たすけあい募金を活用した食料加工品の配付による支援を通し、孤立を防ぎ、つながりを絶やさない社会に向けた「住民同士による支え合いの活動」に取り組みました。 [P. 21、29]

[P. 21, 29]

住民のみでなく地域活動団体、企業等が、世代や分野を超えてつながり、共に支え合う地域をつくるために、市内で行われているイベントでの福祉体験の紹介や他団体との協働による社会福祉大会の開催などを通し、住民に福祉を身近に感じもらう機会を提供し、福祉活動に関わる関係者を増やしていくよう努めました。

[P. 19, 24]

#### 【重点施策】

1. 法人の運営基盤強化・・・・・・・・・・・・・・・・ P6

市社協は、社会福祉法に規定される公的な性格を持つ民間団体であり、組織のガバナンスや専門性の確保など緊張と自覚を持った組織運営の充実に努めました。

また、市民のみなさんにわかりやすく親しみやすい広報紙の発行と併せ、LINEを新規に開設するなどSNSを活用し、地区社協の活動や市内の地域福祉活動を紹介するなど広報活動の強化を図りました。

基金や積立金などの安定的な運用と補助金、委託料の確保に努めるとともに予算の適正かつ効果的な執行と経費節減等に取り組み、持続可能な財政運営を推進しました。

市社協の基礎組織である20の地区・校区社会福祉協議会と、市社協の話し合いの場を増やし、より緊密な連携が図られるよう、オンライン会議や地区社協グループLINEを活用し、社会情勢の変化に対応した活動支援を行いました。

また、子育てサロンの充実に向け、市への働きかけや活動回数に応じた活動の助

成に向けた取り組みを行いました。

生計に困窮されている世帯等に対しでは、諫早市内の企業・個人から寄贈いただいたお米や、セブン-イレブンジャパンから寄贈を受けた店舗改装などで発生する在庫品を配付し、住民参加による地域福祉の推進に取り組みました。

### 3. ボランティア活動の推進 ······ P 2 3

地域に住む一人ひとりに福祉への関心を持つてもらうためのきっかけづくりとして、市内で行われているイベントに参加し、多様な団体と連携しながら、誰もがボランティア活動に参加しやすい環境づくりに努めました。また、ボランティアの養成研修を行うなど福祉活動の担い手となるボランティアの支援と育成を図りました。

大規模な災害に備え、被災地の復興支援において災害ボランティア活動が円滑に行われるよう、関係機関と連携して災害ボランティアセンター設置運営訓練の実施や、災害時相互協力協定を締結しました。

### 4. 共同募金配分金事業の実施 ······ P 2 8

市民の総参加で寄せられた共同募金の配分金を活用し、高齢者福祉、障害児者福祉、児童・青少年福祉、母子寡婦福祉の活動の支援及び助成を行いました。

新型コロナウィルス感染症の影響や物価高騰の影響を受け、生活に困窮している世帯に対し、食材等の支援物資を提供し、住民の心身の負担軽減を図りました。

### 5. 福祉総合相談支援事業の実施 ······ P 3 0

市民のみなさんが気軽に利用できる相談窓口として、ふれあい福祉相談センターを開設しました。あわせて弁護士や司法書士による専門相談も実施し、相談者に對し適切な助言と援助を行いました。

また、認知症、知的障害や精神障害等で判断能力が十分でない方などが、地域において安心して生活が送れるように、福祉サービス利用のための相談や支援を行うとともに、権利擁護を推進するため、地域の相談支援機関や各分野の専門機関と連携して支援に努めました。

### 6. 福祉教育推進事業の実施 ······ P 3 4

小・中学校及び高等学校、また、地域や事業所における福祉教育において、障害者や高齢者の疑似体験などを通じて、暮らしの中での困りごとを感じ、解決する方法について学ぶ機会をつくりました。また、児童及び生徒等を通じて、家庭及び地域社会においても、お互いを認め相手を思いやる心の醸成に努めました。

### 7. 施設管理経営（指定管理）の受託 ······ P 3 5

社会福祉会館と上山荘南館の指定管理施設の設置目的を十分踏まえ、誰もが気軽に利用できるよう、利用者の利便性の向上を図るとともに、両施設とも設備改修工事による施設改善対策やマイクロバスの更新を行い、安全性・快適性の向上に努めました。また、高齢者向けの生きがい講座を開催し、高齢者の社会参加と健康の増進を図りました。

### 8. 新型コロナウィルス感染症に伴う経済対策 ······ P 3 8

新型コロナウィルス感染症の影響による休業や失業により、生活資金に困窮する方の貸付申請数は減少傾向にありますが、貸付の相談を通して潜在的課題の把握に努め、市の生活困窮者自立相談支援員や関係機関と連携を図りながら、相談者の自立に向け対応しました。

## II 実施事業

### 1 法人の運営基盤強化

#### 1. 組織・事務局体制の充実

##### (1) 事務局体制

総務課、地域支援課、地域福祉センター上山荘（2課1施設）

##### 【職員体制】

	一般	契約	臨時・ パート	市派遣	計
総務課	4	2	1	1	8
地域支援課	5	2	1	1	9
上山荘	—	2	2	—	4
計	9	6	4	2	21

##### (2) 監査及び理事会・評議員会の開催

理事（11人）

監事（2人）

評議員（19人）

##### 【理事会の開催】

議事	
第1回 令和4年 5月27日	議案第1号 令和3年度社会福祉法人諫早市社会福祉協議会資金収支補正予算（第4号）の専決処分承認について 議案第2号 令和3年度社会福祉法人諫早市社会福祉協議会事業報告の承認について 議案第3号 令和3年度社会福祉法人諫早市社会福祉協議会資金収支決算の承認について 議案第4号 社会福祉法人諫早市社会福祉協議会社会福祉充実計画の承認について 議案第5号 社会福祉法人諫早市社会福祉協議会職員就業規則の一部改正について 議案第6号 定時評議員会の招集について 議案第7号 評議員候補者の推薦等について 報告第1号 第4次諫早市地域福祉活動計画について 報告第2号 会長・常務理事の職務執行状況報告について 報告第3号 社会福祉法人諫早市社会福祉協議会臨時職員就業規則施行細則の一部改正について

議 事	
第2回 令和5年 3月24日	議案第 8号 令和4年度社会福祉法人諫早市社会福祉協議会事業計画について 議案第 9号 令和4年度社会福祉法人諫早市社会福祉協議会資金収支予算について 議案第10号 評議員会の招集について 報告第 4号 会長・常務理事の職務執行状況報告について 報告第 5号 令和4年度社会福祉法人指導監査結果報告について 報告第 6号 災害ボランティアセンター設置及び運営に関する協定及び災害時相互協力協定の締結について 報告第 7号 講師派遣依頼について 報告第 8号 各種施行細則の改正について

【監査】

議 事	
第1回 令和4年 5月13日	令和3年度事業及び会計監査

【評議員会の開催】

議 事	
第1回 令和4年 6月13日	議案第1号 令和3年度社会福祉法人諫早市社会福祉協議会資金収支補正予算（第4号）の専決処分の承認について 議案第2号 令和3度諫早市社会福祉協議会事業報告の承認について 議案第3号 令和3年度諫早市社会福祉協議会資金収支決算の承認について 議案第4号 社会福祉法人諫早市社会福祉協議会社会福祉充実計画の承認について 議案第5号 理事の選任について 報告第1号 第4次諫早市地域福祉活動計画について
第2回 令和5年 3月29日	議案第6号 令和5年度社会福祉法人諫早市社会福祉協議会事業計画について 議案第7号 令和5年度社会福祉法人諫早市社会福祉協議会資金収支予算について 報告第2号 災害ボランティアセンター設置及び運営に関する協定及び災害時相互協力協定の締結について 報告第3号 講師派遣依頼について

(3) 研修会の参加

職員の資質向上を図るため、研修会に参加しました。

【外部主催研修会及び市社協職員研修】

(人)

月	日	研修名	開催地	参加人数
4	5	長崎県社会福祉協議会委託事業 令和4年度新任職員研修会（日常生活自立支援事業）（生活福祉資金貸付事業）（オンライン）		2
6	15	令和4年度協働募金会市町支会担当職員研修会	長崎市	1
	15	令和4年度長崎県社会福祉法人経営者協議会第1回総会時研修会（オンライン）		1
	16	市町社協ボランティア担当者会議及び中間支援組織職員コーディネートセミナー		1
	29	市町社協災害ボランティア担当者オンライン会議		1
7	8	日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業）専門員ミーティング（オンライン）		1
	28	市町社協定期ミーティング～緊急小口資金等特例貸付の現状と今後の取り組み～（オンライン）		1
8	2	社会福祉士養成に求められるソーシャルワーク実習のあり方（オンライン）		2
	19	長崎県福祉教育推進員養成研修（オンライン）		1
	27	令和4年度諫早市知的障害者理解啓発研修	諫早市	3
	30	令和4年度第1回社協職員オンラインサロン		1
9	6	令和4年度市町協 法人後見支援研修会（権利擁護事業におけるリスク管理）（オンライン）		1
	6	令和4年度企業トップクラス及び公正採用選考人権啓発推進員等を対象とする研修会	諫早市	1
	7	令和4年度交流研修（地域における子ども・子育て支援）（オンライン）		1
	26	市町社協 貸付担当職員オンライン会議		1

月	日	研修名	開催地	参加人数
10	7 15 ~16 18 21 27 28 31	防災・減災教育シンポジウム 令和4年度長崎県防災推進員(自主防災リーダー)養成講座 令和4年度第2回社協職員オンラインサロン 生活福祉資金貸付事業担当職員研修会(オンライン) 令和4年度市町社協法人後見支援研修会(権利擁護事業におけるリスク管理)(オンライン) 第2回福祉あんしんセンター専門員ミーティング(オンライン) 安全運転管理者講習会	諫早市 佐世保市      諫早市	1 1 1 1 2 1 1 1
11	8 9 21 29	令和4年度長崎県意思決定支援ガイドライン研修会(オンライン) 防災大学専門課程 令和4年度成年後見実務研修会(オンライン) 市町社協特例貸付担当職員連絡会議(オンライン)	諫早市	1 2 1 1
12	9 13 15 21	令和4年度ソーシャルワーク実践力強化研修 九州都市社会福祉協議会連絡会議(オンライン) 令和4年度第3回社協職員オンラインサロン 生活福祉資金等貸付事業担当者職員研修会(オンライン)	長崎市	1 4 1 1
1	12 14	令和4年度成年後見制度利用促進連絡会議(オンライン) 令和4年度災害ボランティアセンター運営者養成研修	長崎市	1 1
2	9 22	鎮西学院大学包括連携情報交換会 令和4年度日常生活自立支援事業生活支援員フォローアップ研修(オンライン)	諫早市	1 1

月	日	研修名	開催地	参加人数
3	2	2022年度地域包括支援学科実習研究協議会	長崎市	1
	3	令和4年度生活支援相談管理職・担当者全国連絡会議（オンライン）		1
	6	令和4年度社会福祉協議会活動全国会議（オンライン）		1
	13	社会福祉士養成に求められるソーシャルワーク実習のあり方	諫早市	1
	13	母子父子寡婦福祉資金研修会（オンライン）		1
	16	令和4年度社会福祉協議会活動全国会議（オンライン）		1

#### （4）事務・事業執行体制効率化の推進

諫早市との協定に基づき派遣職員2名を受け入れ、執行体制の強化を図りました。

### 2. 福祉系大学との連携

#### 相談援助実習生受入事業の実施

社会福祉士養成校学生の現場実習

【対象】 4人

学校名	期日	時間	人数
鎮西学院大学	8／17～9／16 (22日)	176	1
" (事前実習)	2／24	8	1
長崎純心大学	8／16～9／16 (うち22日)	176	1
" (事前実習)	2／24	8	1

### 3. 職員の講師派遣

関係団体から講師等派遣依頼を受け、職員を派遣しました。

月	日	講義内容	主催
9	14	令和4年度要約筆記者養成講座 ◎社会福祉の基礎知識 I 「日本国憲法と基本的人権の尊重」 「社会福祉の歴史と理念」	いさはや要約筆記会
11	9	令和4年度要約筆記者養成講座 「対人援助の基礎理論」、「観察技術」	いさはや要約筆記会

### 【地区社協関係】

月	日	講義内容	主催
5	17	福祉協力員研修会 「福祉協力員の活動について」	西諫早小学校区社協
11	28	福祉協力員研修会 「福祉協力員の活動について」	御館山校区社協
12	14	福祉協力員研修会 「福祉協力員の活動について」	小野地区社協
2	24	福祉協力員及びサロン代表者研修会 ①サロン事業事務手続きについて ②サロン事業の運営について	真津山小校区社協

### 4. 自主財源確保の取り組み強化

#### 会費・寄付

自治会・町内会のご協力のもと社協会員の加入促進、寄付金の受付け及び赤い羽根共同募金をはじめ各種募金の勧募の推進を図りました。

また、社協広報紙である「かんしゃ」の発行と併せ SNS を活用し、地区社協の活動や特別会員を紹介するなど広報活動の強化を図りました。

#### 【会費】

	会員数 (人)	会費額 (円)
普通会費 (100円)	40,725	4,072,500
賛助会費 (1,000円)	114	538,000
特別会費 (5,000円)	162	870,000

#### 【寄付金】

19件	2,088,995円
(内訳)	
篤志寄附	7件 1,421,415円
香典返し	12件 620,000円
プルタブ(換金)	47,580円

### 5. 日本赤十字社長崎県支部諫早市地区の事業

日本赤十字社長崎県支部諫早市地区の事務局として、赤十字事業（世界の平和と人類の福祉増進に貢献するという理念に基づき活動）を資するに会員の増強を図り、継続して安定した資金の確保活動を行うことを目的に活動資金の募集を実施しました。

### (1) 募金実績

勧募時期	目標額(円)	実績額(円)	達成率(%)	1世帯当たり
5月	17,366,000	16,805,050	96.76	500

### (2) 災害見舞金配付状況

災害で住居が半壊以上の被災世帯又は、床上浸水の被災世帯に対し、応急的な救援を図ることを目的として、各種救援物資および見舞金・弔慰金を支給しました。

災害見舞金 15世帯 (総額250,000円)

## 6. 長崎県共同募金会諫早市支会の事業

長崎県共同募金会諫早市支会の事務局として、高齢者福祉、障害者（児）福祉、児童青少年福祉、地域福祉など、相互のたすけあいを必要とする福祉活動の費用に充てることを目的に募金活動を実施しました。

多くの人に赤い羽根共同募金運動への理解と関心を高めてもらえるよう、活動の初日にミニコンサートと併せたキックオフイベントを開催しました。また、市内で行われているイベントに参加し、多様な団体と分野を超えて連携したイベント型募金活動に取り組みました。

### (1) 長崎県共同募金会諫早市支会運営委員会の開催

長崎県共同募金会諫早市支会運営委員： 9人 監事2人

議 案： 1. 令和3年度社会福祉法人長崎県共同募金会諫早市支会事業報告の承認について

2. 令和3年度社会福祉法人長崎県共同募金会諫早市支会事務費決算の承認について

3. 令和4年度社会福祉法人長崎県共同募金会諫早市支会事業計画について

4. 令和4年度社会福祉法人長崎県共同募金会諫早市支会事務費予算について

### (2) 募金実績

区分	勧募時期	目標額(円)	実績額(円)	達成率	1世帯当たり
赤い羽根募金	10月～12月	20,344,000	18,042,390	88.7	440
歳末たすけあい募金	12月	2,760,000	2,752,295	99.7	50

## 7. 長崎県戦没者慰靈奉賛会諫早支部の事業

長崎県戦没者慰靈奉賛会諫早支部の事務局として、これまで大戦で亡くなられた戦没者を悼み、平和を祈念することを目的に勧募等を行いました。ご協力いただいた奉賛金は、本市戦没者追悼式のほか、長崎県戦没者追悼式（大村）及び沖縄戦没者追悼式参列の資金となっています。

### (1) 長崎県戦没者慰靈奉賛会諫早支部役員会の開催

日 時：令和4年7月5日

### (2) 諫早市戦没者追悼式の開催

主 催：長崎県戦没者慰靈奉賛会諫早市支部

日 時：令和4年10月6日（木）10：00～11：00

会 場：諫早文化会館（大ホール）

参加者：約400人

### (3) 募金実績

勧募時期	目標額（円）	実績額（円）	達成率（%）	1世帯当たり
8月	2,569,020	2,167,090	84.35	60

## 2 地域福祉活動の推進

### 1. 地区社協運営支援

市社協の基幹組織である地区社会福祉協議会が、地域性に応じた活動を円滑に展開できるよう、組織運営、各種事業に対する助言や情報提供など行いました。

#### (1) 地区社協会長会会議の開催

(人)

月 日	議 事	参 加 人 数
7月29日	令和4年度 第1回地区社協会長会会議 ・第4次諫早市地域福祉活動計画について ・子育てサロンの充実について	48
2月3日	令和4年度 第2回地区社協会長会会議 ・子育てサロンの充実について ・意見交換（地区社協の運営財源について） ・連絡事項	45

#### (2) 地区社協活動支援

新型コロナウイルス感染症予防のため、昨年に引き続き活動を自粛する地区が多い中、各種事業の推進に関する助言や情報提供、サロンの運営や立ち上げ支援などを行いました。また、子育てサロンの充実に向け、各地区の子育てサロンの状況把握を行い、諫早市へ支援の働きかけや、活動回数に応じた活動費の助成に向け取り組みました。

## ①支援項目別実績

(件)

支援項目	件数
事業活動に関する支援	86
地区社協地域福祉活動計画策定支援	3
サロン立ち上げ・運営に関する支援	66
各種事業打ち合わせ及び会議出席・情報提供	5
地区社協関連事業（サロン以外）に関する相談	9
各種事業（集い等）への出席	3
人材育成・研修に関する支援	9
研修会開催時の調整・講師紹介	4
講師として出席	3
研修会等への出席	2
事務局運営に関する支援	14
総会役員会等への出席	2
補助金等の説明・資料作成	12
その他	39
個別支援・対応	39
合 計	148

## ②地区社協総会及び事業への出席

- ・西諫早小学校区社協総会（4月22日）
- ・喜々津地区社協総会（5月12日）
- ・西諫早小学校区社協「福祉協力員研修会」（5月17日）
- ・有喜地区社協「有喜地区ボランティアスクール」  
(10月15日、11月12日)
- ・御館山校区社協「福祉協力員研修会」（11月28日）
- ・小野地区社協「福祉協力員研修会」（12月14日）
- ・多良見東地区社協「福祉協力員及び評議員研修会」（1月24日）

## ③ふれあいいきいきサロン

ふれあいいきいきサロンは全地区社協で実施され、高齢者が気軽に集い、地域との繋がりをつくる生きがいづくりの場として、155箇所のサロン活動が継続しています。

新型コロナウイルス感染症予防に対する対策も定着してきたことから、開催回数、延用者数及び参加者数は前年度に比べ増えてきています。

【ふれあいきいきサロン活動実績】

No.	地区社協名	開設数 (箇所)	開催回数 (回)	利用者延べ数 (人)	ボランティア 延べ数 (人)
1	諫小地区	6	45	282	157
2	上山地区	9	140	986	420
3	上諫早地区	3	70	507	222
4	北小校区	2	28	197	365
5	西諫早小学校区	8	110	1,052	754
6	西諫早地区	9	107	1,236	789
7	御館山校区	3	96	1,399	435
8	本野地区	9	114	815	411
9	長田地区	4	12	74	36
10	高来地区	10	123	1,063	510
11	小長井地区	16	128	821	522
12	森山地区	12	170	981	306
13	小野地区	5	60	567	217
14	有喜地区	7	87	821	233
15	小栗地区	11	279	2,341	1,045
16	飯盛地区	17	290	2,332	950
17	真津山小校区	5	60	359	583
18	多良見東地区	9	120	1,100	582
19	喜々津地区	8	72	694	381
20	多良見西地区	2	47	264	154
合 計		155	2,158	17,891	9,072

④子育てサロン活動

子育てサロンは、13地区社協で取り組まれ、18箇所のサロンが実施されました。未就学児の親子が集い、地域の人々とのふれあいなどを通じ、子育てに対する不安の解消と地域で子育てを見守る体制づくりに取り組んでいます。

また、子育てサロンの活動について、広報紙「かんしゃ」において特集記事を掲載するなど、より多くの人に周知し参加してもらえるよう取り組みました。

【子育てサロン活動実績】

No.	地区社協名	開設数 (箇所)	開催回数 (回)	利用者延べ数 (人)	ボランティア 延べ数 (人)
1	諫小地区	1	12	114	97
2	上山地区	1	21	166	105
3	北小校区	1	10	43	145
4	西諫早地区	2	17	126	162
5	御館山校区	1	12	120	84
6	長田地区	1	0	0	0
7	森山地区	1	10	32	36
8	有喜地区	1	8	129	42
9	飯盛地区	2	24	252	63
10	真津山小校区	4	27	108	157
11	多良見東地区	2	48	551	187
12	喜々津地区	1	10	61	67
13	多良見西地区	1	12	59	32
合 計		19	211	1,761	1,177

⑤福祉協力員設置事業

福祉協力員は、地区社協会長の委嘱を受け、住民の困りごとに気づき、声かけ活動や見守り活動を行い、地区社協の事業に積極的に取り組むなど、地域の福祉力を高めることを目的に活動しています。

今年度は、15地区社協で、民生委員・児童委員等地区社協の構成員とともに協力しながら活動しています。

【福祉協力員設置状況】 設置地区：15地区 福祉協力員数：165人

地区社協名	人数 (人)	地区社協名	人数 (人)
諫小地区	16	森山地区	11
上山地区	10	小野地区	13
上諫早地区	6	有喜地区	9
北小校区	5	真津山小校区	11
西諫早小学校区	15	多良見東地区	10
西諫早地区	13	喜々津地区	12
御館山校区	14	多良見西地区	10
小長井地区	10		

## ⑥地区社協リーダー研修会

地区社会福祉協議会の役員等に対し、広報紙に関する研修機会を設けることで広報活動を担うリーダーを養成し、地区社会福祉協議会の広報活動の充実を図りました。

【日 時】令和4年11月29日（火）13：30～14：30

【参加者】31人

【内 容】各地区社協の広報紙の取り組みについて意見交換

## ⑦世代間交流事業

高齢者や子育て世帯など、同じ地域に生活をしながら普段顔をあわせることが少ない多世代が交流することで、新たな交流が生まれお互いに支えあう関係の構築につながりました。

実施地区 5地区、実施回数20回

No.	地区社協名	実施回数	内 容
1	西諫早小学校区	1	山川町いきいきサロンと西諫早小学校地域子ども教室の交流会（子どもたちの踊り、菓子釣りゲーム）
2	有喜地区	9	防災情報リーフレットの制作・配布、環境整備（花の苗植え）、敬老の日メッセージ制作、防災用品作り、清掃活動
3	真津山小校区	4	花だより事業、おもしろ科学実験、餅つき
4	多良見東地区	2	ふれあい年賀状、鬼火焚き
5	喜々津地区	4	ふれあい年賀状、鬼火焚き

## ⑧高齢者等見守りネットワーク活動

ひとり暮らし高齢者等の見守りネットワーク協力員が安心して活動できる体制整備を行い、市と協働で地域における共助の推進を行いました。

【見守りネットワーク構成状況】

要援護者登録数 2,687人

◎見守りネットワーク協力員活動保険加入者 747人

### 要援護者登録とは

一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯、重度の障害者など、日常生活に手助けが必要な人や、災害時の避難にあたって支援が必要となる人をあらかじめ把握し、普段から地域に住む人同士で支えあい、助け合う地域づくりを目指すものです。

## ⑨ふれあい食事サービス事業

一人暮らし高齢者等を対象にふれあいと見守り活動の一環として、お弁当等を配付しました。

【ふれあい食事サービス事業実績】

No.	地区社協名	実施延べ数 (回)	対象者延べ数 (人)	ボランティア 延べ数 (人)
1	諫小地区	3	205	69
2	上諫早地区	1	21	17
3	北小校区	4	841	88
4	西諫早地区	3	535	45
5	本野地区	4	158	60
6	長田地区	1	95	18
7	高来地区	7	493	67
8	森山地区	2	358	54
9	小野地区	2	182	55
10	有喜地区	1	135	32
11	小栗地区	1	293	18
12	飯盛地区	12	1,797	186
13	真津山小校区	2	172	40
14	多良見東地区	1	223	20
15	多良見西地区	1	85	9
合計		45	5,593	778

## ⑩ひとり暮らし高齢者の集い

ひとり暮らし高齢者の方々の仲間づくりや社会参加及び高齢者の健康を願い、実施した。

【ひとり暮らし高齢者の集いの実施状況】

地区社協名	回数(回)	人数(人)
諫小地区	1	33

## ⑪地区社協・地域福祉活動計画策定

地区・校区単位での地域福祉活動計画は、そこに住む地域住民が自分たちのまちづくりを考え、行動するための目標になるものです。住民自らが、自らの基本理念を実現するため、関係機関・団体と連携し協働しながら、中長期的にその取り組みを進める計画です。

本会は、地区社協にその計画策定を働きかけ、話し合いの場づくりに参加するなど今年度は1地区の社協で計画に取り組みました。

### 【地区社協地域福祉活動計画策定に取り組んだ地区】

策定地区	策定期間	策定までの協議回数	備考
真津山小校区	令和3年7月～令和4年11月	3回	

## ⑫地区社協情報連絡会の開催

地域福祉の担い手である地区社協に、オンライン活用するための情報提供を行うことで、市社協、地区社協との情報交換や連携におけるデジタル化に向けた環境整備を図りました。

月 日	議 事	参加人数 (人)
6月30日	第1回 ・地区社協グループLINEの開設 ・「ZOOM」の操作方法	16
10月28日	第2回 ・広報紙「かんしゃ」を活用した地区社協活動周知 ・地区社協への連絡(通知)方法の整理	17
12月13日	第3回 ・パソコンを使ったLINEの使用 ・広報紙「かんしゃ」に掲載する地区社協記事	16

## 2. 地域福祉強化のための施策

### (1) 第17回諫早市社会福祉大会の開催

【日 時】 令和5年2月16日(木) 10:00～12:00

【会 場】 講師市文化会館

【大会テーマ】 Smile～笑顔の先に広がるしあわせ～

【参 加 者】 約400人

【顕 彰】 講師市社会福祉協議会長表彰

民生委員・児童委員(8年以上)	32人
社会福祉団体(施設)役員(10年以上)	5人
社会福祉団体(施設)職員(30年以上)	1人
地域福祉功労	1人

### 【活動発表】

- ① 演題：「地域の寄り合い所「めだか」活動紹介」  
発表者：峯友 清博氏
- ② 演題：「ナイス・ハート・バザール～16年の歩み～」  
発表者：山口 敬大氏、尾崎 知紗氏

### 【同時開催】

- ①ミニ ナイスハートバザール（障害事業所の紹介・相談ブース）
- ②諫早市ボランティア連絡協議会 パネル展
- ③諫早市地域包括ケア推進課 パネル展

### 3. 生きがい学び事業の実施

#### (1) 上山荘生きがい学び講座の開催

高齢者向けに、健康の増進、各種講座による教養の向上、レクリエーションなどを開催し、高齢者の生きがいづくりに努めました。

【上山荘生きがい学び活動事業】 (人)

講座名	登録会員数	開催延べ数	延べ人数
社交ダンス	12	45	485
手芸	9	24	136
大正琴	13	41	218
囲碁	27	46	496
陶芸	22	48	832
舞踊	11	27	158
実用書道	16	24	232
将棋	14	46	306
俳句	8	12	66
太極拳	27	44	416
昭和歌謡	28	20	259
ヨガ	19	16	172
道しるべ	13	13	117
合計	219	406	3,893

\*ヨガについては講師の都合により9月で閉講しました。

## (2) 上山荘お楽しみ講座の開催

講 座 名	開催月日	参加者(人)
心も体もすっきり「リラックス体操	1月26日	5

\*リハビリの専門職である作業療法士が個々人のペースにあわせた運動を通じて心と体の健康を保たせるための講座を開催しました

## 4. 住民参加による地域福祉の推進

### (1) 諫早のお米で支えるプロジェクト

諫早市内の企業、個人から寄贈いただいたお米を、本会の相談窓口を利用された方で生活困窮されている世帯に対し、共同募金を基に準備した加工食品とあわせて支給しました。

【寄贈品】米 約1,766.2kg (18件の個人、団体からの寄贈)

### (2) 他機関との連携

#### ①セブン・イレブンジャパンからの商品寄贈

長崎県社会福祉協議会とセブン・イレブンジャパンの地域包括連携協定に基づき、店舗改装などで発生する在庫商品の寄贈を受けました。食品や日用品などを市内の子ども食堂や生活困窮者世帯に届けました。

【寄贈品】食品22箱、文房具等の日用品23箱

#### ②個人、団体からの食料加工品の寄贈

新しい赤い羽根共同募金の形として、また SDGs の取り組みの一つとして、レトルト食品など食料加工品を個人、団体から寄贈を受け、市内の子ども食堂や生活困窮者世帯に届けました。

【寄贈品】フリーズドライ食品、インスタント食品など

(13件の個人、団体からの寄贈)

## 5. 地域福祉団体及び関係機関・団体との連携及び会議出席

### (1) 民生委員・児童委員との連携

①諫早市民生委員児童委員協議会連合会会長会及び正副会長会への出席  
・会長会の出席 (12回/年)

②16地区民生委員児童委員協議会定例会への出席 (192回/年)

### (2) 定期総会及び各種団体開催行事への出席

- ・令和4年度諫早コスモス音声訳の会定期総会 (4月9日)
- ・諫早市地域自立支援協議会運営会議地域移行部会 (4月21日)
- ・令和4年度諫早市老人クラブ連合会総会 (4月26日)
- ・令和4年度諫早市民生委員児童委員協議会連合会総会 (5月19日)
- ・令和4年度諫早市母子寡婦福祉会定期総会 (5月22日)

- ・令和4年度手話奉仕員養成講座開講式（昼間の部・夜間の部）（5月23日）
- ・令和4年度認知症の人と家族の会諫早つづじ会総会（5月26日）
- ・令和4年度諫早更生保護女性会総会（5月27日）
- ・令和4年度第1回諫早市民生委員推薦会（5月31日）
- ・令和4年度諫早市ボランティア連絡協議会総会（6月4日）
- ・諫早市地域自立支援協議会運営会議地域移行部会（6月16日）
- ・第58回長崎県市町社会福祉協議会連絡協議会総会（7月5日）
- ・令和4年度要約筆記者養成講座開講式（7月6日）
- ・第72回「社会を明るくし青少年を非行から守る」決起大会（7月16日）
- ・令和4年度第1回諫早市介護予防・日常生活支援推進会議（7月21日）
- ・第65回諫早万灯川まつり（7月25日）
- ・令和4年度第1回地区社協会長会会議（7月29日）
- ・認知症の人と家族の会諫早つづじ会地方講演会（7月30日）
- ・令和4年度第2回諫早市民生委員推薦会（8月1日）
- ・諫早市要保護児童対策地域協議会代表者会議（8月9日）
- ・令和4年度第3回諫早市老人クラブ連合会カラオケ大会（8月25日）
- ・令和4年度市町老人クラブ連合会若手リーダー研修会（9月7日）
- ・防災・減災教育シンポジウム（10月7日）
- ・令和4年度第1回諫早市健康福祉審議会（10月20日）
- ・令和4年度諫早市地域包括ケア推進協議会（11月14日）
- ・令和4年度第1回諫早市健康福祉審議会高齢福祉部会（11月18日）
- ・令和4年度諫早商工会議所会員大会（11月24日）
- ・令和4年度第17回諫早市老人福祉大会（11月25日）
- ・令和4年度手話奉仕員養成講座閉講式（11月28日）
- ・諫早地区犯罪被害者支援ネットワーク会議（11月29日）
- ・令和4年度要約筆記者養成講座閉講式（11月30日）
- ・第16回いさはや障害者福祉大会（12月3日）
- ・令和4年度第2回地区社協会長会会議（2月3日）
- ・健康づくり講演会（2月5日）
- ・令和4年度第2回諫早市介護予防・日常生活支援推進会議（2月15日）
- ・令和4年度諫早市健康福祉審議会（2月16日）
- ・令和4年度県央保健所地域精神医療福祉協議会（2月17日）
- ・諫早市中学校連合生徒会会議（2月21日）
- ・令和4年度諫早市婦人大会（2月26日）
- ・令和4年度諫早市地域包括支援センター運営協議会（3月9日）
- ・中地区老人クラブ連合会福祉大会（3月15日）

### (3) 介護予防と生活支援の語らん場への参加

地域の実情に応じた福祉活動を展開するために「介護予防と生活支援の語らん場」に参加し、地域の福祉ニーズの実態把握に努めました。

No.	エリア	実施地区	参加回数
1	中央	諫小校区	1回 (5/13)
2		上山小校区	2回 (7/27、2/21)
3		北中校区	1回 (3/16)
4	東部	長田地区	1回 (10/27)
5		高来地区	1回 (12/7)
6		小長井地区	2回 (11/29、3/16)
合 計			8回

## 3 ボランティア活動の推進

### 1. 福祉意識啓発活動

#### (1) 社協広報紙「かんしゃ」の発行

社協広報誌である「かんしゃ」を毎月発行し、地区社協の活動や特別会員を紹介するなど市民の方々にわかりやすく親しみのある紙面づくりに努めました。

発行部数 45,900部／月

#### (2) ホームページの充実

諫早市社協の事業活動や地域福祉に関する情報などを市民の方々に適宜周知するため、見やすく親しみやすいホームページの更新に努めました。

また、フェイスブック、インスタグラムに加え新たにLINEを公式活用し、新鮮な情報発信も併せて行い福祉意識の醸成に努めました。

区分	フォロワー・友だち数
①フェイスブック	224
②インスタグラム	718
③LINE	626

### (3) 収集活動への協力（プルタブ及び使用済切手）

身近にあるものを集めることで家庭や職場で気軽にできるボランティア活動です。一人で集める量は少なくとも多くの人が参加することで大きな支援となります。今年度も多くの団体、市民の方から協力していただきました。

#### 【収集実績】

	個人	法人・団体	備 考
プルタブ	75件	94件	換金重量 780kg
使用済み切手	46件	125件	—

### (4) 使用済み切手整理ボランティア活動の実施

福祉教育の推進を図ることを目的に、小学生以下の子どもとその保護者を対象に使用済み切手整理のボランティア活動を実施し、ボランティア活動への理解と関心を深めました。

実施日：令和4年3月27日 参加者数 31人

### (5) イベント型福祉意識啓発活動

地域に住む一人ひとりに福祉への関心を持つてもらえるよう、市内で行われているイベントに参加し、手話と人形劇の同時開催や使用済み切手整理ボランティア活動の開催など、他団体と協働して楽しく福祉に触れる機会を増やしました。

#### ①GOO GOOマルシェ

開催日：令和4年4月24日（日）

#### ②はたらくのりものつづみ in 干拓の里

開催日：令和5年2月19日（日）

## 2. ボランティア活動の振興

ボランティアコーディネーターを配置し「ボランティア活動を希望する人」と「ボランティアを必要としている人」との組み合わせを行い、ボランティア活動を側面から応援する拠点機能を目指しています。

また、ボランティアセンター登録団体が、他団体との連携によって新たな活動の展開ができるよう支援を行いました。

### (1) ボランティア活動の支援（一般向け）

#### ①ボランティアチャレンジ2022（ボランティア体験事業）

長崎県社協が主催する「ボランティアチャレンジ2022（ボランティア体験事業）」の期間中は、高校生をはじめとした若年層からの活動希望が多く、安心してボランティア活動が行えるよう連絡調整を行い、38件の活動へつながりました。

## ②「いきいき応援隊」活動実績

ふれあいいきいきサロン活動に「いきいき応援隊養成講座」登録者を派遣して、ふれあいいきいきサロン活動が円滑に行われるよう支援しました。

【活動日及び活動場所】

※いきいき応援隊登録者 23人

No.	月 日	派 遣 先	派遣人数
1	5月11日	小船越町2区ふれあいいきいきサロン	1
2	5月24日	海津見サロン	1
3	5月27日	上大渡野町ふれあいいきいきサロン	1
4	6月 6日	白岩東部ふれあいサロン	2
5	6月28日	白岩西部いきいきサロン	1
6	6月28日	扇町イキイキサロン	1
7	7月15日	大楽会	2
8	7月26日	海津見サロン	2
9	10月13日	ふれあいいきいきサロン小船越1区	1
10	10月18日	真崎町いきいきサロン	1
11	12月16日	陽だまり会	1
12	1月11日	小船越町2区ふれあいいきいきサロン	1
13	1月12日	いきいきサロン馬渡	1
14	3月10日	堂三いきいきサロン	2
		合 計	18

## (2) ボランティアセンター（利用団体及び個人への支援）

ボランティア活動が思うように実施できない状況が続きますが、勉強会の実施や運営方法を見直す機会となるよう支援をしました。

①ボランティアセンター登録数 団体数：107団体 個人：73

②ボランティア仲介 15件

③ボランティア相談 38件

### ボランティア相談実績内訳

相談内容	件数
活動要請依頼	2
活動希望	4
活動保険	11
団体運営	4
活動先の紹介	13
情報提供	0
講師派遣依頼	0
その他	4
合 計	38

#### ④ボランティア保険加入促進

安心してボランティア活動ができるよう、ボランティア活動中の様々な事故による傷害や賠償責任などについて補償する保険として、「ボランティア活動保険」の受付及び加入促進をしました。

・ボランティア活動保険	109件	団体 67団体 (1,441人) 個人 42件 (43人)
・ボランティア行事用保険	40件	14団体 (5,294人)
・送迎サービス補償	1件	1団体 (述べ利用者数1,300人)
・福祉サービス総合補償	3件	3団体 (延べ活動従事者数400人)

#### ⑤ボランティア団体助成支援

・ボランティア活動費助成団体	35団体
・ボランティア活動保険助成団体	32団体
・ボランティア活動保険助成地区社協	15地区

### (3) 諫早市ボランティア連絡協議会への支援

ボランティア連絡協議会は、諫早市におけるボランティア活動をより円滑に推進するため、会員同士の連携・交流を図り、住民のボランティア精神の高揚とボランティア活動への参加促進を図るために活動しています。

ボランティア活動の拡大とボランティア活動への参加促進を図るため、ボランティアフェスティバルやパネル展を開催し、認知向上に向けて支援しました。

#### ①ボランティア連絡協議会加入団体数 52団体

#### ②諫早市ボランティア連絡協議会の主な活動

- ・会計監査、令和4年度ボランティア連絡協議会総会
- ・理事会開催 9回、代表者会議 3回
- ・ボランティアフェスティバル実行委員会 2回
- ・ボランティアフェスティバル
- ・パネル展 in 図書館・諫早市社会福祉大会
- ・広報誌発行 3回

### (4) 災害ボランティア養成事業

#### 【災害ボランティア設置運営訓練】

大規模災害に備え、災害ボランティアセンター設置運営訓練を実施することで、災害からの復興過程におけるセンターの運営等に携わる人材を育成するとともに、災害支援にかかわる関係機関やボランティアとの連携強化を図り、被災地の復興支援にむけた災害ボランティア活動が円滑に行えるよう設置運営訓練を行いました。

【日時】 令和4年11月19日（土）14：00～16：15

【参加者】 27人（諫早地区6ライオンズクラブ、県社協、諫早市）

【講義】 災害ボランティアと災害ボランティアセンターについて

【演習】 災害ボランティアセンター設置運営訓練

## (5) 災害ボランティアセンターに関する協定

大規模な地震や風水害等による災害が発生した際に「災害ボランティアセンター」の迅速かつ効果的な運営と、災害ボランティアの活動が円滑に行われるよう、諫早市及び関係機関と協定を締結しました。

○諫早市と「災害ボランティアセンター設置及び運営に関する協定」を締結  
(7月5日)

○諫早青年会議所と「災害時相互協力協定」を締結(11月15日)

## (6) ボランティアの養成

### ①いきいき応援隊研修会の開催

ふれあいいきいきサロンにおいて、レクリエーション等の提供を行う「いきいき応援隊」の知識や技術の向上を図るため、研修会を行いました。

【日 時】令和4年7月8日(金) 13:30~15:30

【参加者】いきいき応援隊登録者 15人

【内 容】感染症予防に留意したレクリエーションの技法と展開について

### ②いきいきサロン実践者研修会の開催

ふれあいいきいきサロンの運営に携わる実践者を対象に、ふれあいいきいきサロンの内容の充実を図るため、研修会を行いました。

【日 時】令和5年2月1日(水)~令和5年2月24日(金)

※会場を5箇所に分け開催

【参加者】161人

【内 容】ふれあいいきいきサロンで活用できるレクリエーションについて

### ③子育てサロン実践者研修会の開催

子育てサロンの運営に携わる実践者を対象に、子育てサロン内容の充実を図るため、研修会を行いました。

【日 時】令和4年6月9日(木) 13:30~14:30

【参加者】21人

【内 容】音楽を活用した安心できる場づくりと子育てサロン間の情報交換

## 4 共同募金配分金事業の実施

### 1. 配分金事業の推進

勧募資金及び配分金を活用して、地域の福祉力を高めるための事業を実施しました。

#### (1) 赤い羽根共同募金配分金事業（事業実施月：4月から10月、3月）

事業名	事業概要
広報紙の発行	社協広報紙である「かんしゃ」を毎月発行する。
子育てサロン活動助成	子育てサロン事業を実施する地区社会福祉協議会に対して、活動費の助成を行う。
世代間交流事業の助成	地区社会福祉協議会の世代間交流事業費の一部を助成する。
子育てサロン実践者研修会の開催	子育てサロン実践者を対象に、子育てサロンの充実に向けた研修会を行う。
福祉団体活動助成事業	市内の福祉団体に対して、当該福祉団体の啓発事業費の一部を助成し、福祉団体の活動支援を実施する。 ①諫早市民生委員児童委員協議会連合会 ②諫早市身体障害者福祉協会 ③諫早市手をつなぐ育成会 ④諫早市老人クラブ連合会 ⑤諫早市母子寡婦福祉会 ⑥諫早市精神障害者家族会協会
米寿記念写真贈呈事業	当該年9月1日現在満88歳を迎える高齢者を対象に「米寿記念写真」を撮影し贈呈する。
ふれあい食事サービスの助成	一人暮らし高齢者世帯、援助が必要な二人暮らしの高齢者世帯、障害者のみの世帯等を対象に、安否確認を目的に訪問して弁当等を提供する活動を実施する地区社協に対して材料費の一部を助成する。 (12月実施分は、歳末たすけあい募金配分金事業として実施)

事業名	事業概要
高次脳機能障害者サロン 「ひまわり」の実施	高次脳機能障害者とその家族に集いの場を提供し、当事者の社会参加と自立へ向けての支援を行うとともに、高次脳機能障害者について地域の理解を深めることを目的に実施する。 ・実施日時 毎週木曜日 14時～16時 ・場 所 地域福祉センター上山荘
新入学児童交通安全帽子 配付事業	小学校新入学児童へ交通事故防止を目的に黄色い帽子を贈呈する。
小中学生修学旅行費一部 助成事業	保護及び準要保護の世帯の小中学生の修学旅行費用の一部を助成する。

(2) 歳末たすけあい募金配分金事業（事業実施月：12月）

事業名	事業概要
ひとり暮らし高齢者の 集い	閉じこもりがちな、ひとり暮らし高齢者が一堂に集い、交流をもつことで孤立感の緩和を目的に集いを開催する地区社協に対して事業費の一部を助成する。
小災害見舞金事業	火災により被災された方へ見舞金を支給する。
歳末たすけあい・生活困 窮世帯生活支援事業	新型コロナウィルス感染症の影響や物価高騰等により生計に困窮している世帯に食材等の支援物資を提供する。

## 5 福祉総合相談支援事業の実施

### 1. ふれあい福祉相談事業の実施

#### (1) ふれあい福祉相談センターの運営

##### 【相談事業の実施】

住民の日常生活の様々な相談に応じ、事情に合わせた助言と援助を行なうとともに関係機関との連携により、専門的な対応を可能にし、問題の解決に結びつくよう支援に努めました。

◎ふれあい福祉相談員 12人

##### ①ふれあい福祉相談開催日数及び取扱件数

開設日数	出席相談員延べ人数	取扱件数	取扱件数内訳
242日	228人	1,581件	来所・電話 4人・22件 ふれあい電話 1,555件

##### ②専門相談の実施

【相談員】 弁護士 年6回 司法書士 年1回

【相談件数】 15件

#### (2) ふれあい電話相談

ひとり暮らし高齢者への安否確認を目的とし、在宅高齢者の見守り活動の一環として実施しました。相談者の生活上の不安や悩みに寄り添うよう努めました。

◎ふれあい電話登録者数 87人

◎ふれあい電話発信件数 1,555件

#### (3) 相談状況

令和4年度に事務局が対応した相談件数は492件となっています。「生計」や「教育・青少年」などの相談が多くあり、相談者の不安解消に努めました。

## 相談内訳

(単位：件)

区分	ふれあい福祉相談員対応					事務局 対応 (延べ 人数)	
	相 談 件 数	内 訳			電 話 ふ れ あ い		
		解 決	継 続	他 機 関			
1 生計	2	1	0	1	—	137	
2 年金	1	0	0	1	—	3	
3 職業・生業	0	0	0	0	—	9	
4 住宅	0	1	3	3	—	29	
5 家族	5	2	1	2	—	9	
6 結婚	0	0	0	0	—	0	
7 離婚	1	0	0	1	—	0	
8 健康・衛生	1	1	0	0	—	0	
9 医療	1	1	0	0	—	6	
10 精神保健	4	0	4	0	—	4	
11 人権・法律	0	0	0	0	—	2	
12 財産	2	0	0	2	—	0	
13 事故	1	0	0	1	—	0	
14 児童福祉・母子保健	0	0	0	0	—	0	
15 教育・青少年	1	0	0	1	—	187	
16 心身障害者(児)福祉	0	0	0	0	—	2	
17 母子福祉・父子福祉	0	0	0	0	—	7	
18 老人福祉	1	0	0	1	—	1	
19 苦情	0	0	0	0	—	1	
20 介護	3	0	0	3	—	4	
21 債務	1	1	0	0	—	10	
22 ボランティア	1	0	1	0	—	38	
23 その他	11	3	8	0	—	43	
取扱合計件数(件)	36	9	14	13	1, 555	492	

## 2. 福祉資金貸付事業の実施

低所得世帯・高齢者世帯・障害者世帯の生活を経済的に支えるとともに、在宅福祉及び社会参加の促進を図ることを目的とした生活福祉資金等貸付事業を、長崎県社会福祉協議会の委託を受け実施しました。

(1) 生活福祉資金貸付事業の受託運営

【相談件数、申請件数、決定件数、決定金額】(県社協受託事業)

資 金 種 類	相談 延べ人数 (人)	申請 (件)	決定 (件)	決定金額 (円)
生活福祉資金 (福祉費)	生業費	2	0	0
	技能習得費	38	6	8,679,000
	住宅整備費	5	0	0
	福祉用具購入費	2	0	0
	障害者自動車購入費	8	1	1,140,000
	療養費	1	0	0
	介護等費	0	0	0
	災害臨時費	0	0	0
	冠婚葬祭費	1	0	0
	住宅移転等費	20	2	603,000
	技能習得等支度費	3	0	0
	その他一時的な費用	17	0	0
教育支援資金	教育支援費	109	8	12,042,000
	就学支度費	81	16	5,545,000
総合支援資金	生活支援費	33	0	0
	住宅入居費	0	0	0
	一時生活再建費	0	0	0
緊急小口資金		87	4	382,000
臨時特例つなぎ資金		0	0	0
不動産担保型生活資金		5	0	0
要保護世帯向け不動産担保型生活資金		0	0	0
合 計		412	37	28,391,000

(2) 諫早市社会福祉協議会福祉資金貸付事業の運営

市内に3月以上居住し、臨時の出費又は収入の欠如のため生活を維持することが困難で、応急的な資金を必要とし、必要な資金の融通を他から受けることが困難であると認められた世帯に対して貸付を実施しました。

貸付事業実績

相談(件)	申請(件)	貸付(件)	貸付金額(円)
10	1	1	44,000

### 3. 日常生活自立支援事業の受託運営

認知症や障害により判断能力が不十分な方に対し、福祉サービスの利用手続きや金銭管理の支援を行い、利用者が安心して暮らせるよう支援するため、長崎県社会福祉協議会から委託を受け業務を実施しました。

#### (1) 援助活動の実績

医療機関、施設や障害者相談支援事業所等を通して、高齢者や障害者が在宅で生活するにあたり、福祉サービスの利用に関する相談や利用料、公共料金の支払いなどの金銭管理についての相談がありました。

行政や医療機関、福祉サービス事業所など関係機関と連携を図りながら支援に努めました。

相談件数 18件

#### (2) 契約状況内訳

	認知症等の高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	計
新規契約件数	0	1	0	1	2
契約終了・解約件数	0	1	1	1	3
実利用件数	1	17	6	4	28

#### (3) 活動状況

専門員及び生活支援員によってサービスを提供します。専門員は相談から訪問調査、契約締結を経て支援計画の作成などを担い、生活支援員は、専門員が作成した支援計画に基づき、利用者への直接支援を行います。令和4年度は、専門員2人、生活支援員5人で活動を行いました。

①活動回数（回） ※（ ）内は専門員活動を含めた総活動回数

認知症等の高齢者	知的障害者	精神障害者	その他	計
1 (4)	326 (371)	106 (154)	66 (94)	499 (623)

②電話等による支援回数 1, 245回

### 4. 成年後見申立相談援助

【成年後見申立相談援助】 4件

成年後見申立相談援助に取り組み、制度紹介や成年後見申立手続支援など成年後見制度を円滑に利用できるよう支援に努めました。

## 6 福祉教育推進事業の実施

### 1. 福祉教育の推進

多様な人がいる社会で共に支えあい、安心して生活できる社会をつくるために、子どもから高齢者まですべての人とのふれあいを通して他者の立場、心情を理解し、互いに支えあう心や態度を養うことを目的に事業を推進しました。

福祉協力校の中には、新型コロナウイルス感染予防のため、「高齢者の方とビデオレター交流」「福祉施設の方とリモート交流」人と人との接触を減らす活動する等の工夫も見られました。

#### (1) 福祉教育推進事業協力校の指定

児童・生徒及び学生が社会福祉への理解と関心を深め、公共に奉仕する心情、相互扶助の精神の育成を図ることを目的に指定し助成を行いました。

令和4年度は、小学校28校、中学校13校、高校4校、大学1校 合計46校を福祉協力校として指定しました。

#### 【福祉教育推進事業協力校の活動】

活動分野	主な活動内容
広報・啓発活動	① 社会福祉についての理解を深めるための学習会、講演会など ② ボランティア等の活動を学校新聞やPTA新聞を通して、家庭及び地域に伝える
調査・研究活動	学校区内のバリアフリー調査、自然環境調査など
多種多様な分野との交流を目的とした実践活動	① 地域の高齢者、心身障害児者の訪問など ② 地域の高齢者や心身障害児者、乳幼児と運動会等学校行事を通した交流など ③ 地域住民との協働活動など (例：農業体験を通して地域の方と交流) ④ 社会福祉施設の訪問、見学、ボランティア活動など
地域社会づくりのための活動	清掃、美化活動、文化財の保護等地域での活動など (例：高齢者施設、駅の美化活動、学校周辺の清掃活動)
社会福祉関係行事への参加	老人福祉週間、児童福祉週間、身体障害者福祉強調月間、共同募金、歳末たすけあい運動などの社会福祉関係行事への参加協力など (例：募金活動、プルタブ、エコキャップ、ベルマーク回収活動)

## (2) 福祉体験学習の支援

福祉体験学習支援について、要請のあった小学校及び中学校や職場に職員及び福祉体験サポーターを派遣しました。

- ・派遣先 小学校10校、中学校2校、諫早市役所
- ・職員派遣数 延べ24人
- ・福祉体験学習サポーター派遣数 延べ29人（登録者 27人）
- ・主な体験内容 高齢者疑似体験、視覚障害者疑似体験、車いす体験

## 2. 生活援助事業

在宅の寝たきりの方や、身体に障害のある方又は突発的な理由により一時的に必要になった方に、車いすの貸与を行い在宅生活の支援を行いました。

【実績】貸与件数：65件

## 3. シニア美術手工芸作品展の開催

期 間：令和4年10月27日（木）～令和4年11月4日（金）  
場 所：地域福祉センター上山荘  
作 品：152点  
出展施設：19施設 上山荘4講座  
入場者数：424人

## 4. 障害者美術手工芸作品展（心の花展）の開催

期 間：令和4年12月23日（金）～令和5年1月31日（木）  
場 所：心の花展 WEB展示会  
作 品：56点  
出展施設：11施設等

7

## 施設管理経営（指定管理者）の受託

### 1. 講師市社会福祉会館の管理・経営

市民の開かれた施設として、来館者が安心して利用できるよう、施設運営に努めました。

#### 【貸館状況】

区分	利用団体数（団体）	利用者数（人）
多目的ホール	393	4,365
第1会議室	296	8,033
第2会議室	125	1,033
小会議室	214	2,659

区分	利用団体数(団体)	利用者数(人)
第1講座室	380	2,446
第2講座室	47	359
中会議室	238	3,761
録音室	342	5,781
合計	2,035	28,437

## 2. 諫早市上山荘南館の管理・経営

【諫早市上山荘南館】

月	開館日数(日)	利用者数(人)	一日平均利用者数(人)
4	25	1,836	73.4
5	23	1,764	76.7
6	25	1,908	76.3
7	11	714	64.9
8	26	1,528	64.7
9	23	1,487	70.2
10	25	1,755	67.4
11	24	1,618	67.7
12	24	1,625	69.9
1	22	1,524	69.3
2	22	1,808	82.2
3	26	1,974	75.9
合計	276	19,541	(1日平均) 70.8

※コロナウイルス感染拡大防止のための休館 6月30日～7月16日

## 3. 福祉施設巡回バスの運行

マイクロバスで福祉ゾーンの区間を巡回し、利用者の利便を図りました。

【市役所～上山荘～市社会福祉会館】

月	運行日数(日)	利用者数(人)	平均利用者数(人／日)
4	25	714	28.6
5	23	700	30.4
6	25	720	28.8
7	11	489	44.5

月	運行日数（日）	利用者数 (人)	平均利用者数（人／日）
8	26	826	31.8
9	23	684	29.7
10	25	778	31.1
11	24	1,029	42.9
12	24	800	33.3
1	22	722	32.8
2	22	668	30.4
3	26	713	27.4
合計	276	8,843	(1日平均) 32.0

#### 4. その他

##### 1 施設の改修

施設の指定管理者として契約業務を遵守しながら適正な経営管理に努め、各施設を快適にご利用いただくための改修を計画的に行いました。

###### 【主な内容】

社会福祉会館	
1階事務室	照明器具更新工事
誘導灯	他修繕工事
1階男子洋式トイレ	ウォシュレット取替工事

上山荘南館	
大広間・通路	照明器具 LED 化
避難誘導灯	LED 化
浴場	女性浴場緊急放送用スピーカー取り換え
浴槽ろ過システム	水位電極機器交換

##### 2 マイクロバスの更新

上山荘・上山荘南館及び社会福祉会館を利用する高齢者等の利便性を確保するため経年劣化（23年経過）したマイクロバスを本年2月に更新しました。

## 8 新型コロナウィルス感染症に伴う経済対策

### 生活福祉資金貸付事業（緊急小口資金等特例貸付）の受託運営

新型コロナウィルス感染症の影響により、収入減少や失業をされた世帯に対し生活費等の必要な資金の貸付を行う緊急小口資金及び総合支援資金（生活支援費）の特例貸付を長崎県社会福祉協議会から委託を受け実施しました。

令和4年4月～令和4年9月

資金種類	相談(件)	申請(件)	決定(件)	決定金額(円)
緊急小口資金		111	108	21,250,000
総合支援資金（初回貸付）	725	115	114	57,960,000

### 最終実績（令和2年3月25日～令和4年9月30日）

資金種類	相談(件)	申請(件)	決定(件)	決定金額(円)
緊急小口資金		1,202	1,184	226,996,000
総合支援資金	6,625	981	523,570,000	
		1,470	200	110,750,000
			263	145,450,000

## 9 その他の事業の実施

### 1. 諫早市水難者慰靈祭の開催

日 時：令和4年7月25日（月）17：00～20：00

会 場：高城公園大悲観世音像前

### 2. その他

関係機関と連携を図るため、各種委員会の委員として、役員及び職員を推薦しました。

#### 【各種委員の推薦】

各関係機関から当該委員の委嘱依頼があり、役員及び職員を推薦しました。

○長崎県関係

○長崎県地域生活定着支援センター運営推進委員

○長崎県県央保健所地域精神保健医療福祉協議会委員

○日本赤十字社長崎県支部

○日本赤十字社長崎県支部評議員

○長崎県共同募金会

○長崎県共同募金会理事

- 長崎県共同募金会諫早市支会副支会長
- ◎長崎県戦没者慰靈奉贊会諫早支部
- 長崎県戦没者慰靈奉贊会諫早支部副支部長
- ◎諫早市関係
  - 諫早市防災会議委員
  - 諫早市国民保護協議会委員
  - 諫早市健康福祉審議会委員
  - 諫早市民生委員推薦会委員
  - 社会を明るくする運動諫早市実施委員会委員
  - 社会を明るくする運動諫早市実施委員会幹事
  - 出口ボランティア表彰審査委員
  - 諫早市地域自立支援協議会委員
  - 諫早市地域自立支援協議会地域移行部会委員
  - 諫早市要保護児童対策地域協議会委員
  - 諫早市健康づくり推進協議会委員
  - 諫早市健康づくり推進協議会幹事
  - 諫早市介護予防・日常生活支援推進会議委員

